２０２６年6月～１０月

平和は待たずに作るもの

ウクライナ支援報告



第一次世界大戦を超える戦争へ

1914年7月28日から1918年11月11日までの4年3ヶ月続いた第一次世界大戦。ウクライナでの戦争は今年の10月末で4年8ヶ月となり、第一次世界大戦を超えました。前線での戦闘、そしてウクライナでは都市への無差別攻撃も続いています。

2022年2月の冬から数えて6度目の越冬支援に突入した人道支援活動。過去5ヶ月の支援内容について本報告書にて取り上げます。

変わる支援
変わらぬ支援

戦争の長期化に伴って精神的支援の重要性は高まっています。一方で電力インフラなどへの空襲で、電力支援は開戦当初から変わらず続いています。この間も病院バス（写真下）の再建のためいくつもの発電機を届けました。



教育支援

9月からの新学期に合わせ、2000冊の新作「虹ノート」がウクライナの子ども達（ウクライナ国内ではハリキウ州、ジトーミル州、リヴィウ州、テルノーピリ州に、そしてポーランド国内）に届けられました。

ノートには英語で「No Rain No Raimbow」と入れましたが、これは戦争という苦しい子ども時代を乗り越え、虹のように明るい未来が子ども達に訪れることを願ってのものです。

最近もウクライナでは出版社などが攻撃を受けており、多くの書籍が失われてしまいました。



最新「虹ノート」



中には、今まで届けた様々なノートをコレクションとして集めてくれる子ども達も少なからずいます。彼らのために今後も引き続き教育支援の一環としてノートを届け続けたいと考えています。





スームィ州

　この間もスームィ州に対しては引き続き支援を行っています。美術学校に対する布キャンバスなどの支援はもちろん、止血帯などの救命支援、パワーバンクなどの光を届ける支援、教育支援、遊具支援、衣類支援などを実施しました。そんな中、犬や猫に対する餌支援も大変喜ばれています。

　6月に初めにあった子どもの日には、卓球台を届けました。スームィからは子ども達の絵画もたくさん届いています。



越冬支援「薪」















浴衣支援

ジトーミル州

こちらでは昨年の春に引き続き、日本の子ども達（高知県香美市立香北中学校）とのオンライン交流会や、桜の植樹などが行われました。ノートも多くの子ども達に届きました。

今回実施した初めての支援として、日本の浴衣があります。チェルノブイリ原発事故の関係で日本とのつながりが戦前からも強い地域で、より日本からの関心を伝えられる支援となっています。着付けの動画も同時に届けているので、子ども達は自分たちで浴衣を着つけてくれています。来年の春、桜と共に浴衣姿が見れるでしょう。









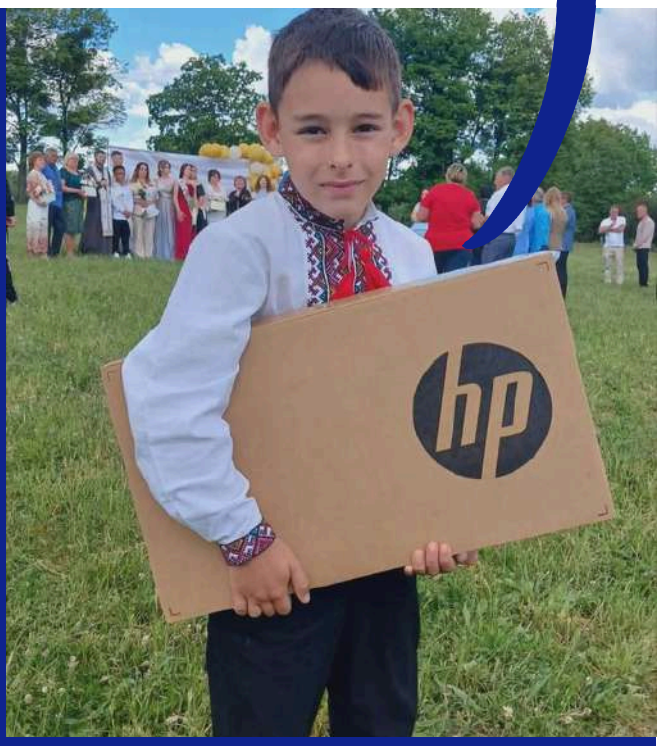


リヴィウ州



リヴィウ州を拠点にして届け、前線で救命支援に日々従事している救急車2台。今でも攻撃を受けることなく人々の命を救い続けているとの嬉しい知らせが届きました。その他、親を戦争で失った子ども達に教育支援の一環としてパソコンを支給しました。









テルノーピリ州、リウネ州

　テルノーピリ州の子ども達には衣類支援やノート支援に加え、子どもの日にはサッカーボール、テニスラケット、バレーボールなど体育の授業で使えるスポーツ用具の支援を実施しました。6月、小学校の卒業生たちは昨年届けた浴衣を着ての踊りを披露してくれました。

　リウネ州では幼稚園の子ども達が桜を植えました。戦争の影響で多くのイベントが中止に追い込まれる中、桜植樹が１つのイベントとして続けられています。



浴衣を着て踊る子ども達













その他の支援



松前桜

来春、ウクライナで最も古い植物園の1つとして知られているクレメネチ植物園に、「日本ウクライナ桜平和イニシアティブ」として30本の松前桜を届けるべく、現在ベルギーの植物園にて苗木を育てています。すでに2メートル近くになりました。

ポーランドでは6月末にウクライナの子ども達が通っていた小学校が閉校となり、１つの時代に幕がおろされました。

音楽支援に力を入れていくため、ポーランド人バイオリニストとウクライナ人ボーカリストと３人でグループ「SOAR WINGS-Three Souls One Harmony-」を結成し、今後の本格的な活動、スタジオ録音に向け練習を進めています。



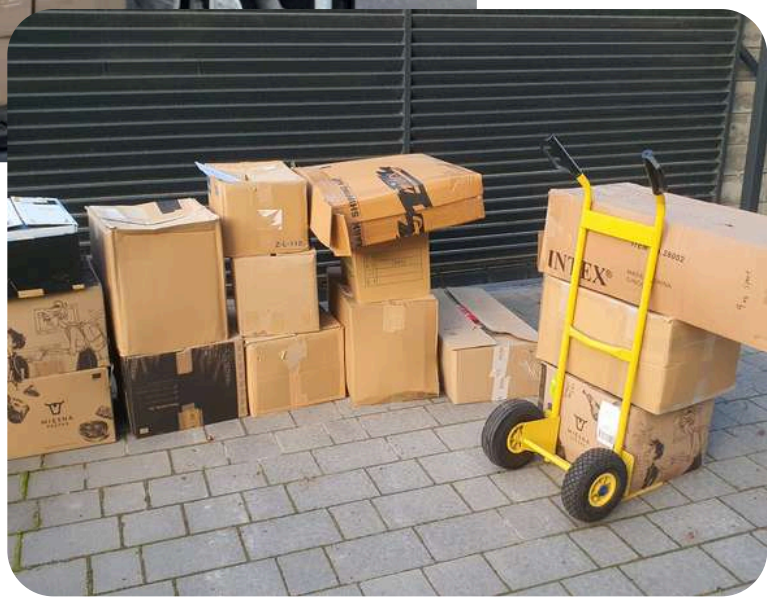






ハリキウにもノート、そしておもちゃなどの支援が届きました。ハリキウはスームィと並んでロシアと国境を接する州、つまり最前線の１つです。空襲が日常となっておりインフラの破壊も深刻です。





（写真上）夏の終わりに支援仲間で今までずっと協力してきたミラがこの世を去りました。戦争に行ったきり数年前から行方不明の兄とは会えませんでした。

（写真下）スームィ州での遊具や動物支援の様子です。野良猫問題も決して無視できません。



